

第 59 回 緑化推進運営協議会

議 案 書

と き 令和 4 (2022) 年 2 月 17 日 (木)

オンライン開催



公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会

目 次

1. 報告案件

- ① 令和 3(2021)年度「緑の募金」事業概要について P 1
- ② 令和 3(2021)年度「緑の募金」収支決算見込み P 5

2. 第 1 号議案

- 令和 4(2022)年度「緑の募金」事業計画案について P 6

3. 第 2 号議案

- 令和 4(2022)年度「緑の募金」収支予算案について P 9

4. その他

- 募金振込手数料及び硬貨入金手数料への対応について P 1 0

巻末資料

- ・ 全国の緑の募金実績（令和 3 年 1～12 月）
- ・ 自治会等への募金の協力依頼における注意事項

令和3(2021)年度「緑の募金」事業概要

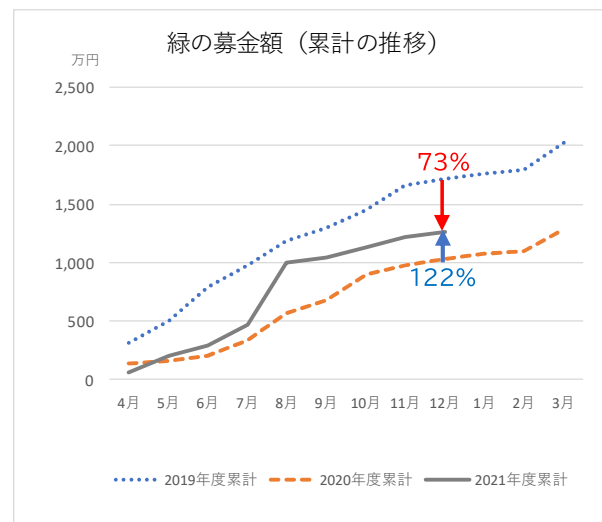
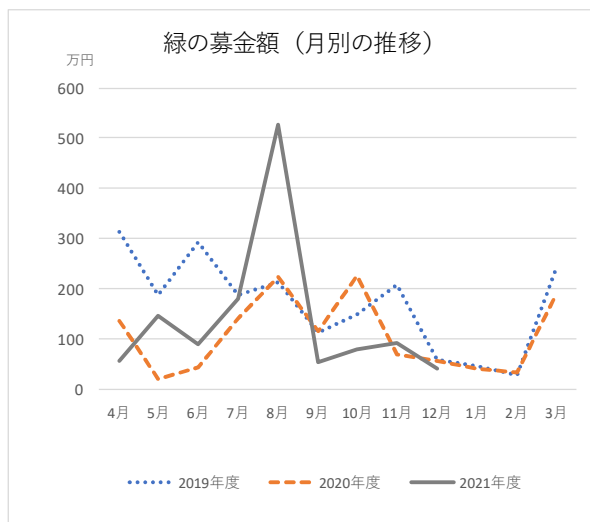
緑の募金収入の状況

前年に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、職場募金、学校募金、街頭募金など募金活動の縮小を余儀なくされている。

2021年4月から12月までの募金収入は前年比122%と回復傾向を示したが、コロナ前の2019年との比較では73%となっている。

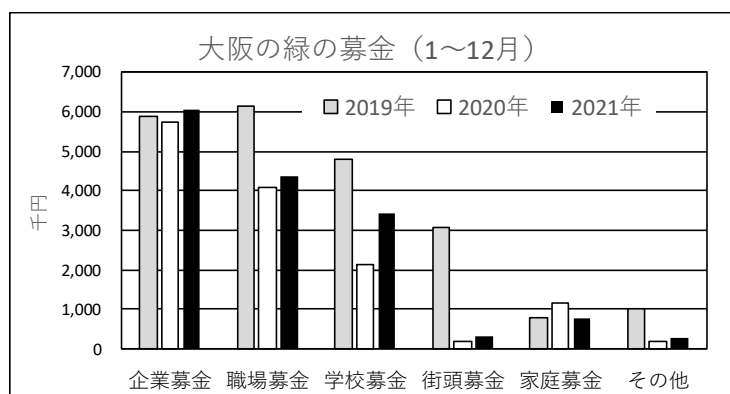
種類別の推移(1~12月区切りの年推移)をみると、企業募金はコロナ前とほぼ同程度であるが、職場募金はコロナ前の7割程度、学校募金は回復傾向がみられるもののコロナ前の7割程度となった。街頭募金はコロナ前の1割程度にとどまった。

2022年1月~3月の募金額を前年同様と予測すると、第57回協議会(2021年2月)に示した目標額16,000千円に届かず、15,200千円程度にとどまることが見込まれる。



種別	2019年	2020年	2021年
企業募金	5,866,414	5,715,987	6,064,319
職場募金	6,140,654	4,084,949	4,357,659
学校募金	4,779,515	2,124,727	3,424,243
街頭募金	3,080,522	175,067	321,718
家庭募金	777,045	1,159,011	763,336
その他	1,004,203	184,115	281,179
総計	21,648,353	13,443,856	15,212,454

表中の数字は金額 (円)



1. 緑の募金運動推進事業

(1) 普及啓発資材の整備

緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、2021 年秋用および 2022 年春用の募金資材を整備した。(緑の羽根、緑化バッジ、P R チラシ、ポスター、募金箱)

緑化バッジはコロナ禍で活用できなかったバッジを優先的に活用すること、過去のバッジを有効活用することを前提に製作数を削減した。



2021 秋バッジ (カキ)



2022 春バッジ (ケヤキ)

(製作数)

2019 秋	2020 秋	2021 秋
カツラ	—	カキ
5,000	0	3,170

2020 春	2021 春	2022 春
ツクシ	キイチゴ	ケヤキ
13,000	7,000	6,000

(2) 募金活動の推進

街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等の募金を呼びかけた。

- <キャンペーン期間> ・春季 2021 年 3 月 1 日～5 月 31 日
・秋季 2021 年 9 月 1 日～10 月 31 日

(3) 募金拡大

募金方法の多様化を進めるために 2020 年より開始した遺贈募金 (JELF「みどりの遺言」プロジェクト) を継続している。キャッシュレス募金については、(公社) 国土緑化推進機構が全国の緑の募金団体とともに PayPay 募金の開始に向けた取り組みを行っていたが、PayPay 株式会社から金融庁への手続きが進まず、2022 年度の開始は難しい状況である。

2. 緑化推進・森林の整備事業

(1) 緑化事業等交付金

募金活動に協力した団体や学校、企業による地域や学校の緑化を推進するため、集められた募金額の 40%を上限に、該当団体の申請に基づき緑化事業等交付金を交付した。

2021 年 2 月～11 月振込分まで 272 件 2,309,021 円

(参考：2020 年 2 月～11 月振込分まで 181 件 1,575,594 円)

(2) 堺第7-3区「共生の森づくり」の推進

市民・NPO 等の参加で例年 3 月に実施されていた「共生の森づくり」イベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった。

(3) 生駒花屏風支援事業

生駒山系を屏風に見立てて彩豊かな“花屏風”を作る「生駒花屏風支援事業」として、6 団体への助成を行った。例年行っているハイキングは新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった。

(4) 平和の緑づくり事業

大阪府内の平和堂店舗の有料レジ袋の収益金の一部からなる寄付を活用し、学校や幼稚園、保育園などで身近な緑づくり（植樹と「緑の教室」の開催）を推進した。

申請 4 件、採択 4 件

(5) 緑の少年団活動支援事業

子どもたちが緑や自然に触れ、森林や緑化に関する意識が高められるよう、大阪府緑の少年団連盟 4 団に助成を行った。例年行っている交流集会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった。

(6) その他

① 中央交付金の交付

（公社）国土緑化推進機構に対して、中央交付金（広域的な森林整備や緑化の推進に活用される）として緑の募金の 2%相当額に 250 千円を加えた額を交付する。（3 月予定）

② 緑化推進運営協議会の運営

緑の募金の適切な運用を図るため、有識者からなる緑化推進運営協議会を開催。

・第 58 回緑化推進運営協議会：オンライン開催 5/26

・第 59 回緑化推進運営協議会：オンライン開催 2/17

③ 募金・緑化功労者の表彰

募金額による推薦団体は該当なし。

「ふれあいの森林づくり」優良市町村等として「交野里山ゆうゆう会」（交野市）を推薦し、9 月に「国土緑化推進機構 理事長賞」の受賞が決定した。

3. 森林環境教育・森林 ESD の推進

(1) 教員免許状更新講習の企画・運営

新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、対面の講習を前提とした教員免許状更新講習は開催中止となった。

大阪教育大学、大阪府森林組合、大阪森林インストラクター会等と連携し、来年度オンラインでの開催ができるよう、全体カリキュラムの組み直し、講習内容の精査、教材の準備等を進めている。

(2) 研究会等への参加、イベントの開催

近畿中国森林管理局において、幼稚園や保育園で行う、森林や園庭・公園など身近な自然環境を活用した自然体験の取組みなどを紹介するパネル展示を行う（当初 2 月の予定は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により 3 月に延期され開催予定）。

(3) みどりづくりの輪活動支援事業

子どもたちによる生物多様性につながる自然環境保全活動、森林整備活動、校庭・園庭等の緑化やビオトープの整備等への助成を行った。

申請件数 7 件、採択 2 件

(4) 「学校に森林と木の香りを」整備事業

子どもたちが国産木材の利用や緑の効用について理解を深めるため、教育施設の木質化や森林に関する学習の実施に対する助成を行った。

申請件数 6 件、採択 3 件

4. 普及啓発事業

(1) 会報誌・メールマガジンの発行、ホームページ・SNS の運営

例年 4 回（昨年度はコロナ禍の影響で 3 回の予定を 2 回に変更）発行していた会報誌は、今年度から年次報告書形式で年 1 回の発行とした（7 月発行）。紙媒体に代わり、6 月にリニューアルしたホームページを活用し情報発信を行った。緑の募金を活用して行われた助成事業の報告や、緑の募金のご協力者紹介コーナーを掲載し、企業募金等へのインセンティブを高めた。メールマガジンは 2021 年 2 月より月に 1 回、約 300 の団体や個人に定期配信し、タイムリーな話題提供とホームページへの誘導を促した。

(2) 普及啓発イベントへの参加

大阪府立中央図書館共催イベントとして「令和 3 年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」入選作品展示 及び「緑の募金活用による子どもたちへの助成・森林 ESD 取組み」紹介パネル展示を 4/20（火）～5/16（日）の期間予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により 4/25（日）より休館・展示中止となった。

11/15（月）（一社）大阪府木材連合会の催事にて募金活動・PR を行った。

(3) ポスターコンクールの実施

（公社）国土緑化推進機構が実施する「令和 4 年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」に、大阪府内からは、23 校／109 点（参加総数 576 点 ※1 校につき応募は 10 点まで）の応募があった。10/7 の審査会にて優秀作品を選び推薦した。結果、国土緑化推進機構中央審査会入選なし。大阪みどりのトラスト協会賞 14 名

令和3(2021)年度「緑の募金」収支決算見込み

単位:千円

科目	2020年度 決算額	2021年度 予算額	2021年度 決算見込み	備考
I 収入の部				
1. 緑の募金収入	12,914	16,000	15,212	
2. 助成金等収入(受取受託金)	450	0	80	
3. 運用財産利息収入	0	1	0	
4. 雑収入	2,034	0	19	
当期収入合計(A)	15,398	16,001	15,311	
前期繰越収入差額(B)	△ 3,320	△ 2,241	△ 2,257	
収入合計(C)=(A)+(B)	12,078	13,760	13,054	
II 支出の部				
1. 緑の募金推進事業				
募金活動費	1,525	2,535	2,239	資材整備他
募金拡大	9	0	1	
小計	1,533	2,535	2,240	
2. 緑化推進・森林の整備事業費				
緑化事業等交付金	1,935	3,000	2,737	
堺第7-3区「共生の森づくり」推進費	0	270	0	
生駒花屏風支援事業	1,127	1,200	981	
平和の緑づくり事業	310	750	641	
緑の少年団活動支援事業	455	780	470	
中央交付金の交付	518	570	554	15,212千円×0.02+250千円
緑化推進運営協議会の運営	11	38	1	
募金・緑化功労者の表彰	3	6	0	
国緑対応	120	180	131	国緑会費12万円
小計	4,481	6,794	5,515	
3. 森林環境教育・森林ESD推進事業				
教員免許状更新/教員向け講習の企画・運営	0	300	278	
研究会等への参加、イベントの開催	14	100	39	
みどりづくりの輪活動支援事業	288	470	308	
「学校に森林と木の香りを」整備事業	604	620	600	
小計	906	1,490	1,225	
4. 普及啓発事業費				
会報誌の発行・メールマガジンの発行	278	135	145	
ホームページ、SNSの運営	642	300	117	
普及啓発イベントへの参加	20	44	0	
ポスターコンクールの実施	248	150	164	
その他	54	53	53	PCソフトライセンス料等
小計	1,242	682	479	
5. 推進事務費	6,173	6,500	6,500	
当期支出合計(D)	14,335	18,001	15,959	
当期収支差額(A)-(D)	1,063	△ 2,000	△ 648	
次期繰り越し収支差額(C)-(D)	△ 2,257	△ 4,241	△ 2,905	

令和4(2022)年度「緑の募金」事業計画(案)

2021年度に続き2022年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響が残るスタートとなるが、募金活動を実施する場合の注意事項等を徹底していただくとともに、SNSを活用した広報活動等、新たな時代に対応した募金活動を進める。

また、(公社)国土緑化推進機構とともに、SDGs達成への貢献を目指し、緑の未来を担う子どもたちへの助成・森林環境教育などを進める。

1. 緑の募金運動推進事業(予算2,602千円)

① 募金資材の整備

緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、2022年秋用および2023年春用の募金資材を整備し、活用する。

募金資材	概要
緑の羽根	緑の募金運動のシンボルである緑の羽根を準備し、募金者に配布する。
緑化バッジ	大阪府立港南造形高等学校の協力を得て、植物の葉や花をモチーフとした緑化バッジを、春と秋のキャンペーンに合わせて作成し、募金者に配布する。
PRチラシ	以下の目的に応じたチラシを作成し配布する。 緑の募金の普及啓発/物品寄附の周知/遺贈による寄付の周知
ポスター	募金実施団体の希望により配布するとともに、公共施設や道の駅などに依頼し、掲出する。
募金箱	募金形態にあわせて使用できるよう、紙製、間伐材製、街頭募金向けストラップ付の3種類を整備する。また一時的利用を目的とした募金箱を牛乳パックや空き箱を活用し手作りできるようにする。

② 募金の呼びかけ

2022年度の募金目標額を17,000千円とし、以下の団体へ協力依頼し、街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等の募金を呼びかける。

種別	協力団体
街頭募金	日本ボーイスカウト大阪連盟、(一社)ガールスカウト大阪府連盟、大阪府緑の少年団連盟
学校募金	各市町村教育委員会、大阪私立中学校高等学校連合会 他
家庭募金	大阪府内43市町村
職場募金 企業募金等	大阪府、大阪府警察本部、近畿中国森林管理局、大阪商工会議所、大阪府木材連合会、大阪湾広域臨海環境整備センター、大阪商工信用金庫、大阪府生活協同組合連合会、大阪いずみ市民生活協同組合、ダイドードリンコ(株) 他

- ・企業の社会貢献活動(CSR)への考え方が成熟している中、企業からの使途指定寄付への要望にも応えていく。
- ・キャッシュレス募金、WEBから募金ができる「つながる募金」や家庭に眠る物品の寄付(お

宝エイド)物品寄付や遺贈による寄付、など、募金方法の多様化に向けた仕組みづくりに取り組み、ホームページやイベント等で周知し、普及啓発を図る。

③ 募金キャンペーンの実施

募金キャンペーン期間を設け、各団体による街頭募金を集中的に実施するとともに、府内各地で行われる各市町村や各種団体等の緑化関連イベントなどで緑の募金活動を強化し、周知を図る。

＜キャンペーン期間＞ ・春季 2022年3月1日～5月31日
・秋季 2022年9月1日～10月31日

2. 緑化推進・森林の整備事業(予算 7,190 千円)

(1) 緑化事業等交付金(予算 3,230 千円)

募金活動に協力した団体や学校、企業による地域や学校の緑化を推進するため、集められた募金額の40%を上限に、該当団体の申請に基づき緑化事業等交付金を交付する。

(2) 堺第7-3区「共生の森づくり」の推進 (予算 270 千円)

地球温暖化防止にかかる運動の一環として、堺第7-3区における市民・NPO等の府民参加で実施されている「共生の森づくり」活動へ助成する。

(3) 生駒花屏風支援事業 (予算 1,200 千円)

生駒山系を屏風に見立てて彩豊かな“花屏風”を作る「生駒花屏風支援事業」への助成を行う。同事業を推進する生駒山系森づくりサポート協議会の活動や主催行事に参加し、緑の募金のPRを行う。

(4) 平和の緑づくり事業(予算 640 千円)

大阪府内の平和堂店舗の有料レジ袋の収益金の一部からなる寄付を活用し、学校や幼稚園、保育園などで身近な緑づくり(植樹と「緑の教室」の開催)を推進する。

(5) 緑の少年団活動支援事業(予算 1,050 千円)

子どもたちが緑や自然に触れ、森林や緑化に関する意識が高められるよう、大阪府緑の少年団連盟に対して活動助成を行う。今年度は直近2年間開催できなかった交流集会を開催する。

(6) その他(予算 800 千円)

① 中央交付金の交付

(公社)国土緑化推進機構に対して、中央交付金(広域的な森林整備や緑化の推進に活用される)として緑の募金の2%相当額に250千円を加えた額を交付する。

② 緑化推進運営協議会の運営

緑の募金の適切な運用を図るため有識者からなる緑化推進運営協議会を年2回以上開催する。

③ 募金・緑化功労者の表彰

(公社)国土緑化推進機構に対して、募金・緑化功労者の推薦を行うとともに、表彰を行う。

3. 森林環境教育・森林 ESD の推進(予算 1,540 千円)

(1) 教員向け講習の企画・運営(予算 300 千円)

大阪教育大学、大阪府森林組合、大阪森林インストラクター会等と連携し、2021 年度に準備を進めた教員向け講習を実施する。募集人数は 20 名程度を予定。コロナ禍に対応するため、オンライン開催が可能なプログラム構成とする。

(2) 研究会等への参加、イベントの開催(予算 100 千円)

(公社) 国土緑化推進機構や関係団体とともに、森林 ESD の推進に向けた研究会・勉強会に参画する。また、森林環境教育・森林 ESD の普及啓発を目的としたパネル展を開催する。

(3) みどりづくりの輪活動支援事業(予算 520 千円)

子どもたちによる生物多様性につながる自然環境保全活動、森林整備活動、校庭・園庭等の緑化やビオトープの整備等に助成する。また、これらの活動組立てや整備計画立案にあたり、専門家による助言を得られるよう、専門家の紹介や相談時の費用助成などの支援を行う。

(4) 「学校に森林と木の香りを」整備事業(予算 620 千円)

子どもたちが国産木材の利用や緑の効用について理解を深めるため、教育施設の木質化や森林に関する学習の実施に対して助成する。

4. 普及啓発事業(予算 498 千円)

ネット環境の有効活用を進め、メールマガジン、ホームページ、SNS 等多様な媒体による重層的な情報発信を行う。

クラフト出店等による普及啓発イベントへの参加、ポスターコンクールの実施については、効率化や改善を図りつつ実施する。

(1) 会報誌の発行・メールマガジンの発行(予算 135 千円)

会報誌は年 1 回の年次報告形式で発行し(6 月予定)、ホームページ掲載を行う。メールマガジンはイベント情報や活動報告等を定期的に配信する。

(2) ホームページ、SNS の運営(予算 116 千円)

緑の募金のキャンペーン情報や助成事業についてタイムリーにお知らせする。また募金が活用された事業報告などを随時更新する。SNS・メールマガジンと連動し、広く活用内容が伝わるよう発信する。

(3) 普及啓発イベントへの参加(予算 44 千円)

緑の募金を活用して進める「生物多様性の保全」、「木材の利活用促進」、「森林 ESD の推進」等について理解を深めるため、府民を対象とした関連イベントへブースを出店し、自然素材を活用したクラフト体験の機会を提供するとともに、緑の募金への協力を呼びかける。

(4) ポスターコンクールの実施(予算 150 千円)

国土緑化運動を推進するためのポスター原画コンクールに参加し、優秀作品を選出し表彰する。

(5) その他(予算 53 千円)

編集ソフトの年間使用料。

5. 推進事業体制の整備(予算 6,500 千円)

緑の募金事業推進に伴う事務所経費および人件費など、必要な事務的経費を支出する。

令和4(2022)年度「緑の募金」収支予算(案)

第2号議案

単位:千円

科目	2021年度 予算額 ①	2021年度 決算見込み	2022年度 予算額 ②	前年度 予算対比 ②-①	備考
I 収入の部					
1. 緑の募金収入	16,000	15,212	17,000	1,000	
2. 助成金等収入(受取受託金)	0	80	0	0	
3. 運用財産利息収入	1	0	0	△ 1	
4. 雑収入	0	19	0	0	
当期収入合計(A)	16,001	15,311	17,000	999	
前期繰越収入差額(B)	△ 2,241	△ 2,257	△ 2,905	△ 664	
収入合計(C)=(A)+(B)	13,760	13,054	14,095	335	
II 支出の部					
1. 緑の募金推進事業					
募金活動費	2,535	2,239	2,592	57	資材整備他
募金拡大	0	1	10	10	月に1回程度企業訪問
小計	2,535	2,240	2,602	67	
2. 緑化推進・森林の整備事業費					
緑化事業等交付金	3,000	2,737	3,230	230	募金額の約19%
堺第7-3区「共生の森づくり」推進費	270	0	270	0	
生駒花屏風支援事業	1,200	981	1,200	0	
平和の緑づくり事業	750	641	640	△ 110	16万円×4園
緑の少年団活動支援事業	780	470	1,050	270	2年ぶりの交流集会開催
中央交付金の交付	570	554	590	20	17,000千円×0.02+250千円
緑化推進運営協議会の運営	38	1	24	△ 14	2回のうち1回はオンライン開催
募金・緑化功労者の表彰	6	0	6	0	額縁等
国緑対応	180	131	180	0	国緑会費12万円、全国緑推会費1万円 総会参加5万円
小計	6,794	5,515	7,190	396	
3. 森林環境教育・森林ESD推進事業					
教員免許状更新/教員向け講習の企画・運営	300	278	300	0	
研究会等への参加、イベントの開催	100	39	100	0	
みどりづくりの輪活動支援事業	470	308	520	50	専門家の紹介や相談時の費用助成を追加
「学校に森林と木の香りを」整備事業	620	600	620	0	
小計	1,490	1,225	1,540	50	
4. 普及啓発事業費					
会報誌の発行・メールマガジンの発行	135	145	135	0	
ホームページ、SNSの運営	300	117	116	△ 184	HPリニューアルが終了
普及啓発イベントへの参加	44	0	44	0	
ポスターコンクールの実施	150	164	150	0	
その他	53	53	53	0	PCソフトライセンス料等
小計	682	479	498	△ 184	
5. 推進事務費	6,500	6,500	6,500	0	
当期支出合計(D)	18,001	15,959	18,330	329	
当期収支差額(A)-(D)	△ 2,000	△ 648	△ 1,330	670	
次期繰り越し収支差額(C)-(D)	△ 4,241	△ 2,905	△ 4,235	6	